

山本 アグリ JOURNAL

2025年7月号



山本商事株式会社

本 社：会津若松市インター西29番地

〒965-0059 TEL (0242) 24-4561 (代) FAX (0242) 25-0956

営 業 所：郡山市喜久田町卸一丁目14番地1

〒963-8681 TEL (024) 959-6631 (代) FAX (024) 959-6634

No. 3 0 3

今後の稲作管理について

今年の水稲は、6月24日現在、草丈平年より長く、茎数は多い状況で、生育は平年並みから若干遅れています。

気象庁発表の3ヶ月予報によりますと、7月は平年に比べ曇りや雨の日が少なく、8月は晴れの日が多いとのことです。気温は7月が高い確率60%、8月が高い確率50%です。

降水量は、7月が平年より少ないが40%、8月は平年より多いが40%の予報です。

いもち病の注意報はでていませんが、今後は、感染好適日が多くなると考えられますので、防除を徹底してください。

また、圃場にノビエ・ホタルイなどが残草していると、斑点米カメムシ類のすみかになってしまいます。残草処理をしっかりとるようにしてください。

昨年は倒伏したために、刈遅れによる胴割粒などの品質低下が発生しました。生育診断を実施すると共に、倒伏軽減剤の使用も検討してください。

いもち病防除

育苗箱処理剤を施用している場合の防除

《7月下旬～8月上旬》

コラトップ粒剤・ジャンボP

または

《穂孕期～出穂期》

ブラシン粉剤DL・フロアブル

トライ粉剤DL・フロアブル

残草処理

- ノビエのみ…… トドメMF粒剤(湛水処理)・乳剤(落水処理)
クリンチャー粒剤(湛水処理)・EW(落水処理)、
- ノビエ以外…… バサグラン粒剤・液剤(落水処理)、ルナクロス1キロ粒剤(湛水処理)
- ノビエ、多年生雑草同時防除…… ゲバード・ゲバードギア1キロ粒剤・ジャンボ・エアー粒剤(湛水処理)
シアゲMF1キロ粒剤(湛水処理)
ウィードコア1キロ粒剤・ジャンボ(湛水処理)
アレイルSC、クリンチャーバスME(落水処理)、トドメバスMF(落水処理)
ロイヤント乳剤(落水処理、クサネム・イボクサ卓効)

その他の剤についても、薬剤散布の適期に沿って、使用してください。

調節肥

出穂 45～35 日前

磷酸、苦土、珪酸の追肥を行うことで、不順天候に強い稲になりますので、施用を勧めてください。

生育診断

出穂 25 日前に生育診断することで、その後の追肥や病虫害防除などの指標となります。

診断結果をもとに、次の対策を指導してください。

- 葉色が濃いときには、珪酸、磷酸、苦土などの施用と併せて、穂いもちの防除を実施してください。草丈も長い場合は、倒伏軽減剤(ロミカ、スマレクト)の散布を勧めてください。
- 天のつぶ、里山のつぶ、ひとめぼれは、葉色を落とすすぎると粒数が少なくなってしまうので、出穂 25～20 日前に追肥を行ってください。
- 出穂後高温が予想される場合は、生育診断で過剰生育でなければ出穂期に追肥を実施することで、白未熟粒の発生を抑えられるので実施してください。また、穂ばらみ期～出穂始期に「イールダーワン」を 10 アール当たり 100～200 ml 散布するのも有効です。

倒伏軽減剤

ロミカ粒剤・…… 出穂 25～10 日前まで

スマレクト粒剤・… 出穂 20～7 日前まで

使用量:2～3kg/10a

カメムシ防除

出穂 10 日前までに、畦畔および水田内の除草をしてください。

クモヘリカメムシの薬剤防除時期は、出穂期～穂揃期です。カスミカメは穂揃期～乳熟期を目安に施用し、追加散布は1回目の防除から 7～10 日後に実施してください。

クモヘリカメムシについては、粒剤は防除効果が劣るので、粉剤・液剤の使用をお勧めします。

《 粉剤DL 》

エクシード粉剤 DL、アルバリン粉剤 DL、ダントツ H 粉剤 DL、MRジョーカー粉剤DL、トレボン粉剤 DL

《 粒剤 》

スタークルメイト1キロ粒剤、ダントツ粒剤

※薬剤を湛水状態で水面施用し、7日間は落水やかけ流しをしないでください。

《 液剤 》

エクシードフロアブル、スタークルメイト液剤、ダントツ水溶剤、トレボン乳剤、エミリアフロアブル